

●育児休業の掛金免除の申出①

【記入例】出産予定日に出産し、育児休業の掛金免除を申出

湯島学園の私学花子さんが令和〇〇年11月14日を出産予定日として10月4日(出産予定日の42日前)から1月9日(出産予定日の翌日から56日後)まで出産のために休業する予定で産前産後休業の掛金免除を申請したが、出産予定日に出産したので、産後休業後の1月10日から3月31日まで育児のために休業する予定で育児休業の掛金免除を申請する。

記入箇所・記入例(出産後の申出)
※出産予定日どおりに産まれた場合

産前産後休業
育児休業等掛金等免除申出書

下記のとおり申し出ます。

令和〇〇年10月5日

日本私立学校振興・共済事業団理事長 殿

学校法人等所在地	郵便番号 (113 - 0013) 東京都文京区明神1-3-5
学校法人等名	湯島学園
代表者名	理事長 湯島 太郎
事務連絡先電話番号 (必ず記入してください)	市外局番 局番 番号 担当者氏名 03 (3800) 1000 人事課 ●●●

下記の申し出は事実と相違ないことを証明します。

令和〇〇年10月5日

★赤枠で囲った部分のみ記入をしてください。

加入者番号									加入者氏名				生年月日				性別			
限コード	学種	学校番号			個人番号							年	月	日	1. 男					
1	3	A	1	2	3	4	5	6	7	8	9	私学花子				1. 男				
												3	昭和				1. 男			
												4	平成	0	2	0	6	1	0	2. 女

<産前産後休業>

申出 11702 訂正 11703 取消 11701

←該当の口に✓を入れてください。

書類に不備があった場合、確認の電話をする場合があります。連絡先と担当者氏名は必ず記入してください。

開始年月日	終了(予定)年月日	出産児数
106 1 107 年 月 日	114 年 月 日	121
1		

※出産予定日通りに産まれた場合は、<産前産後休業>の欄は空欄のまま提出してください。点線以下<育児休業等>の欄のみご記入ください。

<育児休業等>

- 休業期間中に月末がない場合(月をまたがない休業)、休業日数が14日以上でないとその月の報酬分掛金等は免除になりません。
- 「育児休業等」「出生時育児休業」とともに、開始から終了(予定)までの引き続いた休業期間がひと月を超える場合のみ、月の末日を含む月に支給された賞与と掛金等が免除になります。
- 月をまたいだ休業を複数回に分けて取得する場合は、それぞれの休業ごとに用紙を作成してください。

申出 11702 訂正 11703 取消 11701

←該当の口に✓を入れてください。

○育児休業等

開始年月日	終了(予定)年月日
106 2 (1) 136 5令和 Δ Δ 0 1 1 0	143 5令和 Δ Δ 0 3 3 1

開始年月日	終了(予定)年月日
(2) 150 5令和	157 5令和

(1)と同じ月内に同じ種類の休業を再度取得する場合、(2)に記入してください。

○出生時育児休業

① 開始年月日	② 終了(予定)年月日	③ ①~②のうち就業日数(※)
3 (1) 164 5令和		194

育児休業等の開始年月日は、産前産後休業の終了年月日の翌日以降になります。記入例では、出産日が令和〇〇年11月14日で、産後休業終了日が翌年の令和△△年1月9日(56日後)になるため、翌日の令和△△年1月10日を育児休業の開始年月日としています。

※「就業日数」は、出生時育児休業取得期間中に就業(勤務)する場合に、その日数を記入してください。ただし、就業日数を除いた休業期間が14日以上ないと、その月の報酬分掛金等は免除になりません。

【子の情報】

子の氏名										生年月日			出産予定年月日			備考				
カナ	196	シ	カ	ク	△	シ	ヨ	ウ	ヘ	イ	212	年	月	日	219	年	月	日	226	
漢字		私学 翔平									5	令和	〇	〇	1	1	1	4	5	令和

子の情報は必ず記入をしてください。
※双子など多胎児の場合は、最後に出生した子の氏名を記入してください。登録できるのは一人になります。